

会 報

2017~2018 R I 第2720地区



人吉ロータリークラブ

The Hitoyoshi Rotary



通 算 2 9 7 8 回
2018年4月20日
第 3 4 回 例 会

ロータリー：変化をもたらす

2017-2018年度 R I 会長
イアン H.S. ライズリー

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎ 2171

例会場

事務局

清流山水花 あゆの里内 ☎ 6665 ☎ 6505



人吉ロータリークラブ
ホームページ



f フェイスブックページ

[E-mail]

hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

本日の進行

- P1~2 会長の時間
- P2~3 幹事報告、出席率報告、会務報告
- P3~6 地区研修協議会報告 ②
二二〇・R財・米山・人吉奨学寄付カード



点 鐘 井手富浩 会長
歌 唱 ヲグリーガー 青木一幸SAA委員長

国 歌 「君が代」
四つのテスト唱和
R S 「奉仕の理想」

司会・進行 新堀純子プログラム委員長

会長の時間

会長 井手富浩

皆様こんにちは。本日は来訪者はいらっしゃいませんので、会長の時間とさせていただきます。先週はロータリー活動が忙しい週となりました。

先週12日(木)と昨日19日(木)、人吉RC奨学生として、球磨工業高等学校2名、人吉高等学校4名の生徒さん達に奨学金の給付式を行ってまいりました。

会員の皆様も御存知の様に、人吉RC奨学基金は4年前よりロータリーの奉仕の精神に基づき、地域社会の教育振興の向上発展に寄付する事を目的として学校からの推薦、理事会での承認を経て、1人12万、6名の生徒さんに年間72万

の給付をするものです。皆様方からの御寄付等のおかげ様で、基金としても順調に推移しており、学校関係者、保護者の皆様からの感謝を頂き、なによりも奨学生の生徒の皆様からの、その学業に対する意気込み、将来に向けた夢や目標への力強い言葉を聞く時、この事業が我クラブの新しい伝統となり、末永く継続していかなければならない事業ではないかと思えます。

次に先週の例会13日(金)の後、19時より、青少年奉仕委員会の家庭集会がありました。葉山委員長、加登住副委員長、後藤会員、増田会員、中村会員、竹長会員、そして私と石蔵幹事と100%全員出席でした。会議内容は、5月の青少年奉仕月間で5/18(金)に行う、担当例会の卓話者選定でしたが、様々な候補の中から卓話者が決まり、準備にかかれた様です。5/18の卓話楽しみにしております。

続いて4/14(土)には、多良木RCの50周年が開催されました。当クラブからは、全員登録と致しましたが、当日34名の参加を頂きました。ありがとうございます。

記念式典、記念講演が「あさぎり町須恵文化ホール」、祝賀会が「パルティール福寿庵」で開催されましたので、バスでの移動とさせて頂きましたが、行きはハプニングで、高山泰四郎ガバナーエレクトが同乗されました。短い時間ではございましたが、「もうすぐ始まるガバナー公式訪問の練習になりました」とのお言葉を頂きました。式典では、スポンサークラブとして、御祝いの言葉を述べさせて頂きましたが、人吉ロータリークラブが60周年、多良木ロータリークラブも50周年という事で、親子と言うよりも、兄弟クラブと言えること、今後共





に切磋琢磨しながら、更なる友情を深めていきたいと思いますとの思いを伝えてまいりました。

そしてなによりも心に残りましたのは、山下泰裕氏の「人生の金メダルを目指して」と題しての講演でした。山下氏は「過去を振り返るより今を精一杯に生きる生き方」を伝えられ、柔道を通して、自分自身の体験から学ばれたこと、師匠、先達から学ばれたこと。また、その学びを自分の人生に活かす生き方を模倣し、様々なすばらしい事業をグローバルに、実践され続けておられることに強い感銘を受けました。

最後に4/15(日)には、「命のロータリーキッチンカー」事業で、益城町のテクノ仮設住宅に行ってきた。ローターアクト2名を含む」ロータリアンファミリー13名と御存知「吉組」さん 8名の合計21名の参加でした。震災から丸2年、キッチンカーのキックオフからちょうど丸1年目の節目の訪問となりました。復旧、復興の様々なインフラ事業は進んではおりますが、仮設住宅で暮らす皆様は減りつつあるとはいえ、まだまだ3万8千人以上の方々、その将来に大きな不安をかかえつつ、不自由な生活をされております。ハード（インフラ）の面も道なかば、ソフト（心）の面のケアは、まだまだこれからという現状の中で、今回も仮設住宅で暮らす皆様に本田節直前会長は、金銭、物資の支援ではないこと、真心と元気を届けて、自立の支援をさせて頂くことを切々と語られ、仮設の皆様からも感謝と賛同の言葉をたくさん頂きましたが、まだまだ事業は緒についたばかりです。これからも仮設の皆様へ心を寄せながら、ロータリアン自身が事業の実践を継続していかなければなりません。

結びになりますが、先月開催されました地区大会で、中村靖治RI会長代理からこの様な話がありました。アメリカ イリノイ州 シカゴ近郊のエバンストンにある、国際ロータリー本部ビルの玄関ロビーに掲げてある横断幕の文言「Enter to learn ,Go forth serve」（入りて学び 出でて奉仕せよ）が、2014年に変更され、「Join Leaders、Exchange Ideas、Take Action」（リーダーが集まり、着想を替えて、実践しよう）となった様です。国際ロータリーも明らかに変化し続けております。ロータリー財団基金を活用した補助金制度等、理論を実際に行なう実践の比率が大きくなってきていると感じております。本日の人吉RC奨学基金事業、山下泰裕氏の行動原理、そして命のロータリーキッチン事業等、いずれも実践の継続です。「Take Action！」これで会長の時間を終わります。ありがとうございました。

幹事報告

幹事 石蔵尚之

(理事会承認事項) なし

(連絡事項)

- ・第33回地区ローターアクト研修会(6月2~3日)のご案内が届いております。→永尾委員長へ
- ・米山記念奨学会の月報が届きました。→回覧
- ・ひとよし球磨青年会議所より創立60周年記念講演会並びに講演会、献茶式のご案内が届きました。→井手会長へ
- ・人吉自衛隊協力会より平成30年度理事会開催のご案内が届きました。→井手会長へ
- ・例会変更と取り止めのお知らせです。八代東RCより5月3日取り止め、八代南RCより5月1日取り止め、8日は清掃例会に変更。熊本東RCより5月1日取り止め、熊本東南RCより5月2日取り止め→掲示
- ・人吉市みどり推進協議会より平成30年「緑の募金」(企業募金)の依頼が届きました。→ 掲示
- ・熊本南RC60周年、ロータリー家族清掃活動の出欠一覧表を回覧致しますのでご記入下さい。
- ・毎年恒例の人吉市クリーン作戦が30日(月)午前6時より行われます。当クラブでは護国神社周辺の清掃にあたります。後ほどFAXにてご案内いたします。メイクアップとなりますのでご協力を宜しく願います。
- ・4月14日の多良木RC50周年記念式典で頂戴しましたスポンサークラブへの感謝状をステージ横に飾っておりますのでご覧ください。全員登録につき記念品をお持ち帰り下さい。

出席率報告

委員 板井英朗

会 員 数	64名	本日の出席率	
出 席 免 除	1名	71.88%	
欠 席 者 数	18名	4 / 6 例会	84.13%
出 席 者 数	45名	補 填 数	10名
免除会員出席者数	1名	修 正 出 席 率	100%

*届け出欠席 後藤・丸尾・渡辺・葉山・川越・戸高・村山
小林祐・堤正・馬水・大久保・漆野・宮崎・外山・小林清
友永・本田・大賀

*出席免除会員 (b) 愛甲

*メイクアップ 4/6 多良木RC50周年： 大久保・山田・北
小林清・浅野・馬水・渡辺・山本・宮崎・外山

会務報告

【ローターアクト委員会】 委員長 永尾禎規

人吉RAC 4月第2例会案内

日 時； 4月26日(木)19時30分～

場 所； ひまわり亭

内 容； 「新人会員卓話 例会」

【人吉RC奨学基金委員会】 委員長 鳥井正徳
 新年度第4期人吉RC奨学生
 (人吉高校4名・球磨工業高校2名)
 認定楯授与と第一回奨学金給付式報告
 球磨工業高校4/12、人吉高校4/19



国際ロータリー第2720地区
地区研修・協議会 報告
 平成30年4月8日(日) ホルトホール大分



社会・国際奉仕部会



次年度国際奉仕委員長
 和田栄司
 歴年数：22年10ヶ月
 職業分類：冷暖房設備工事

国際奉仕部会は、国際奉仕副委員長の岸川氏の司会で進行され、社会国際奉仕部門長 秋吉実部門長の挨拶後、国際奉仕小野健介委員長が次年度の活動方針についてと、アンケート結果報告がありました。

〈国際奉仕部門活動計画〉

- ①前年度よりインド・ブルキナファソ他との交流事業の実施。(各地区の情報を収集し、地区内のクラブに提供していく)
- ②グローバル補助金活用を地区内全クラブに推奨して、その実績に対してサポートし事業の実現、成功に導く。
- ③社会・国際奉仕部門シンポジウムの実施と成功 (2018年7月28日(土)別府市両築別邸)
- ④国際奉仕セミナーの実施と成功
2018年10月27日(土)熊本 午後の部
- ⑤「国際奉仕の集い」の実施と成功
(2019年2月24日(日)大分)

- ⑥国際奉仕の多様性に対応しての地区委員会組織の見直し
- ⑦アンケート集計結果にもとづく地区とクラブとの国際奉仕の情報の共有と今後の事業の検討

〈アンケートの集計結果〉

集計結果については、ピックアップして報告いたします。

- ①国際奉仕をしていますか？
 A 実施している 22クラブ
 B 実施していない 35クラブ
- ②どこの国ですか？
 1. 台湾(16クラブ)
 2. 韓国(9クラブ)
 3. オーストラリア(3クラブ)
 4. フィリッピン(3クラブ)
 5. タイ (3クラブ)
 6. モンゴル・シンガポール・スリランカ
 (各1クラブ)
- ③どのような事業を実施していますか？
 1. 図書を送った(大分南)
 2. 毎年給水タンクを送っている(5年目)
 (大分南)
 3. 2011年台湾クラブとマッチンググラントの実施(熊本東南)
 4. パーシー海峽慰霊碑を4クラブ合同で建立した(熊本西)
 5. タイ・チェンライ山岳民族藤山寮へ浄水設備支援

幹事部会



次年度幹事 新堀純子
 歴年数：2年9ヶ月
 職業分類：公衆温泉

初めての地区研修会の印象としては 研修にも関わらず 友愛ひろばが早朝からあり、沢山の食べ物が並んでいて、今から研修なのにと驚きました。

基調講演では、クラブの活性化について元RI研修リーダーの足立さんの話を聞きました。会員増強、ロータリー財団への寄付の事など、クラブの活性化についてお話しされ大変勉強になりました。

特に決議23.24については全く知らなかったもので、私のようなロータリー歴が浅い会員にとっても、よい話でした。ぜひもう一度お話を聞きたいと思ったので機会があれば人吉に来ていただきたいと思いました。

部門別の研修会では、週の仕事、月の仕事、年の仕事と説明を受けましたが、事務局の事務員さんがいるクラブといないクラブではそれぞれ仕事の内容も違うので、幹事歴の長い人やロータリー歴の長い人の参考になる話をもっと聞きたかったで

す。

例えば、資金繰りについてお話しもされていましたが、実際、人吉では予算組みもしますし、半期決算もしますので、途中でショートすることはありません。組織として人吉ロータリーはきちんとしていて先輩方のおかげだなあと感じました。

事務局と幹事が情報をいかに共有しあっているというのが運営していくうえで重要だと再確認しました。人吉は、会長、幹事、事務局の緒方さんとのグループラインをつくってますし、なにより事務局の力量にもよるところも大きく、うちは本当に緒方さんで良かったなと感じております。

一番参考になった意見は、いろんな役職で幹事が一番楽と言われた方がいらっしやいました。仕事は全部みんなにふるだそうです。

私も次年度は参考にしたいと思います。

公共イメージ部会



次年度公共イメージ委員
井手富浩
歴年数：14年1ヶ月
職業分類：配管工事

三村公共イメージ部門長の挨拶、早水公共イメージ副部門長より地区委員の紹介がありました。その後、三村部門長より「公共イメージの具体的な活動について」と題しての講話があり、その内容は、まず、高山ガバナーエレクトより◎公共イメージ向上につながる奉仕プロジェクトをメディアに広報する事。◎マイロータリーの登録率を前年度10%アップする事。◎ロータリークラブ・セントラルへの入力促進。以上3項目の要望があり、それを踏まえて次の大きな2つの柱を中心に活動していきます、との話がありました。

1. マスメディアの取材依頼を増加する。(公共イメージ委員会を中心にクラブから直接依頼する方法と、クラブからの依頼を地区の公共イメージ委員会で受けて依頼する方法【取材依頼書作成】の2つの方法伝え実行する。)

2. マイロータリーの登録率をアップする。(IT委員会を中心にマイロータリーの登録率をアップする。)

永田ガバナー年度では、50%の登録率を目指していましたが、現在22.6% (最も高いクラブで76%) の現状を踏まえ、登録のやり方の指導を強化して前年度10%アップを目指さず。

ちなみに人吉RCは、現在14名登録で22.2%となっており、地区平均並みとなっておりますが、あと50名の皆様にその手順も踏まえ、登録して頂きます様御願ひ致します。また、その活動予定として、地区セミナーが9/2(日)熊本にて、青少年奉仕部門との合同で開催されます。

続いて、森川IT研修委員会副委員長より「IT研修委員会について」と題してのネットを通しての実践的なレクチャーがありました。その中で、登録したつもりで、会員ではなく一般の人として、誤登録されている事例が多い事。それを確認する方法、また、それを訂正するやり方、そして、登録を円滑にする方法等。地区のHP、会員向け資料の1番目に出てくる「My Rotary アカウント登録の手引き～失敗しないアカウント登録～」の活用を勧められ、また、事務局、幹事、そして、ITに強い人材の登用でタッグを組んで、登録率をアップして欲しいとの話がありました。最後に、赤川ロータリーの友地区委員長より、たいへんユニークな講話があり、終了致しました。

職業奉仕部会



次年度職業奉仕委員長
石蔵尚之
歴年数：5年7ヶ月
職業分類：新聞発行

高山泰四郎ガバナーエレクトの職業奉仕部門に向けた目標設定とお願いは、①職業奉仕の研修と実践、特に新会員に職業奉仕の意義を教えて下さい、②職業奉仕の実践発表、③金銭至上主義の20世紀の職業社会にあつて、物質中心の風潮を精神的、文化的なものに変えたのが「利己と利他の調和」「超私の奉仕」であり、職業奉仕の理念である「最もよく奉仕する者、最も多く報われる」を、末長く伝えていきたい…この3点を示されました。これを受け、部門別協議会では、熊本北RCの倉田榮喜部門長を中心に研修が行われました。

私を含め、参加者の半数以上が初めての職業奉仕委員長とあつて、手引をもとに学びました。ロータリーの目的の第2項にこうあります。職業上の高い倫理基準を持ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。とても哲学的で難解ですが、平たく言えば、昔は自分の職業の持続的発展が目的であり、例えば仕事ならば当然の対価はとるべきであるという、つまり「自己チュー」だったわけですが、現在においては職業奉仕とはもっと倫理的なものだとされています。それが「4つのテスト」であり「ロータリアンの行動規範」というわけです。改



めて例会の唱和の際に考えてみようと思いました。

では、実際に職業奉仕活動は何かといえば、例会で会員が自らの職業について話すこと。これは内部卓話になるのでしょうか。また互いの職業について学びあうこと。職場訪問例会がこれにあたります。このほか、クラブの何人かの会員が集まって市民相談会を開くように地域社会においてスキルを発揮することもクラブとしての職業奉仕活動となります。

グループに分かれて意見交換も行いました。我がクラブと同様に職場訪問や優良職員表彰を実施しているところが多かったです。このほか、あるクラブでは夏休みを使って児童に「なりたい職業の絵」を描いてもらい表彰を行っているところや、若者のキャリア選択の幅を広げることを目的として、ドクターや弁護士、パティシエ、漁師、警察官といったブースを小学生に自由に見て回ってもらうイベントを行っているところもありました。ちなみに、司法書士、社会保険労務士さんのブースは全く人気がなかったようですが、ともかく子供たちにとって知らない職業でも社会に大切な職業があることを知ってもらうという意義があったとのことでした。今後、皆さんと考えていきたいと思っています。

さて、次年度は7月14日に職業奉仕委員長セミナー、9月29日に新会員と若手会員セミナー、12月2日に職業奉仕活動報告大会が予定されています。次年度も引き続きいちからの勉強となりそうですが、どうぞ宜しくお願いいたします。

社会・国際奉仕部会



次年度社会奉仕委員長
延岡研一
歴年数：16年1ヶ月
職業分類：電気工事

前提として、
・現在の社会・国際奉仕部門は次年度、社会奉仕部門と国際奉仕部門に独立することを目標に、それぞれの委員会の充実と組織作りに取り組む。

・公共イメージ部門との連携により、奉仕活動を地区内外や地域住民に向けて発信し、活動の基盤とクラブの体づくりを支援する。（公共イメージ部門として、公共イメージ委員会を中心にクラブから直接依頼する方法とクラブからの依頼を公共イメージ委員会で受けて依頼する方法を実行する）

- 1 それぞれのクラブの社会奉仕活動を把握してセミナー等で様々な活動事例を紹介していく。
- ・今部門別協議会では、代表して人吉RCを含む8クラブ程度が事例を発表

- ・当クラブは「チャレンジカップ」と「キッチンカー」について説明
- 2 地区補助金の利用促進を図る。
- 3 各クラブからの地域のニーズを探り、ロータリー地域社会共同体（RCC）の実践の可能性を追求する。
- ・RCがスポンサーとなり、地域の奉仕団体等と協力して行う事業、現在日本では40のRCCが行われている。
- ・当クラブが事例発表した「チャレンジカップ陸上競技大会」はこのRCCといってもいいのではないかという委員長意見をいただいた。

青少年奉仕部会



次年度青少年奉仕委員長
鳥井正徳
歴年数：8年8ヶ月
職業分類：社会教育

1. 部門長から重点方針について簡単な説明
～青少年奉仕は未来への奉仕～
○4つの部門の相互連携を。
 - ・ローターアクト、インターアクトの会員の増強
 - ・ライラの意義とその徹底
 - ・青少年交換事業の充実
2. ローターアクト委員会（安達玄一委員長）
 - ・アクト委員長は2年以上を
 - ・アクト地区広報が作成する地区新聞の活用を
 - ・会員が卒業しても困らないよう加入促進を
- ・現状
熊本41クラブ中 9クラブ83名
大分33クラブ中 6クラブ57名
- ・ロータリー会員の積極的な支援を
3. 青少年交換委員会
 - ・短期交換 数日間から数週間
熊本2名 大分2名
 - ・長期交換 1年間のプログラム 通学義務
熊本1名 大分1名2018年6月申込締切
4. インターアクト委員会
 - ・対象 12才～18才（高校生中心）
熊本10クラブ（高校）、大分15クラブ（高校）
 - ・夏休み学童ボランティア（水俣）
 - ・シューズをタイに贈る活動（大分舞鶴）
 - ・障害児家族支援事業（国府）
5. ライラ委員会
 - ・本年度はロータリアンへの周知を徹底
 - ・14才～30才の若者を対象、プログラム実施
 - ・登録者 約40名

R財団部会



次年度R財団委員長 中川貴夫
歴年数：22年10ヶ月
職業分類：自動車整備

1. 部門の役割

補助金プロジェクトへの参加と寄付を通じて財団を支援する計画を立案し、実施する事。

2. 具体的な取り組み・・・高山ガバナーからのお願い事項

- (1) グローバル補助金を活用した国際奉仕プロジェクトの実施を国際奉仕部門と連携して立案し、実行して下さい。
- (2) 年次基金への寄付額 1人当たり150\$を目指して下さい。
- (3) ポリオ撲滅への募金活動の実施と寄付の推進（ポリオプラス寄付一人当30\$）
- (4) ロータリー平和フェロー事業へのアプローチと平和フェロー候補者の発掘を

3. 各委員会の任務

- (1) 地区補助金委員会
各クラブの地区補助金の支援、アドバイス
- (2) グローバル補助金・ポリオプラス委員会
グローバル補助金事業支援、アドバイス
ポリオ活動
- (3) 資金推進委員会
ロータリー財団・年次寄付1人当150\$達成に向けた活動
- (4) 財団資金管理委員会
補助金の適正管理及び入出金の承認

4. セミナー予定

- (1) 財団知識浸透の為の例会訪問
各クラブへの例会に積極的に参加して個別セミナーの開催を実施
- (2) 補助金セミナーの開催
開催日 平成31年2月2日（土曜日）
開催地 大分市・ホルトホール大分

米山記念奨学部会



次年度米山記念奨学委員長
浦田繁喜
歴年数：39年5ヶ月
職業分類：建築

本年井手会長長年度で、米山奨学生の王辰寧さんを世話クラブとして送り出したばかりですし、カウンセラーの宮原会員と本会員が本当に親身になってお世話を頂きました。会員皆様も一致協力してお手伝いされました事に感謝を致します。おかげさまで、何か心強い思いで参加することが出来ました。

部会の始まりには司会の方から、部門長・各委員長の紹介がありました。各クラブからの出席者は、全員義務出席のはずですが、なぜか40名ほどで、意外な感がありました。

部門長 坂口滋一氏（熊本中央RC）より、年度の活動方針の発表があり、

- (1) 米山奨学生についての理解の推進
- (2) 寄付金の増額についての推進
- (3) 学友会活動の広報活動に努める。

この三点を重点に事を行って行く。

米山記念奨学会の基礎・目的を正しく理解して頂き、地域社会や国際社会に誇れる米山記念奨学会を、多くのロータリアンに伝え、有意義な活動や交流が多く見える組織として、奨学金交付の機会を得た外国からの留学生が、将来日本と母国、そして世界平和と国際親善に貢献できるリーダーとして力を発揮できるように、教育・育成し、支援することを基本とします。寄付金については、一人平均15,000円（普通寄付・特別寄付）を継続目標とします。特別寄付ゼロクラブの訪問説明活動に重点をおき、好転解決することを目標にする。

米山記念奨学生・学友双方を更に活発化させ、多様な地区行事への参加や公益的な部門独自のイベントに参加活動を行う。

新年度の採用学生は11名

（中国4名・ベトナム3名・インド・ネパール・ドミニカ・インドネシア 各1名）、継続の7名を合わせて 合計18名が決定しております。世話クラブやカウンセラーを積極的に受入れてほしい。



【寄付カード】 ニコニコ箱委員会 板崎幸範

〈ニコニコ箱委員会〉

- ・井手会長 先週の多良木RC50周年、多くの御参加ありがとうございました。
- ・瀧田会員 誕生祝いただきました。ニコニコします。
- ・愛甲会員 4月の結婚記念祝をいただきました。

〈R財団委員会〉

- ・岩井会員 優良職員表彰式を先週ご案内申し上げましたが、現在まだ3名と少ないようですので、ご協力お願い致します。

〈人吉RC奨学基金委員会〉

- ・延岡会員 4年を迎える人吉RC奨学基金を祝って!!

点 鐘 井手富浩 会長